

食品ロス削減に向けた未利用食品の有効活用の推進

令和3年度の取組実績

フードバンク活動の促進に向けた実証

<目的>

小さな規模、エリアでのモデル事例を構築・検証する実証事業を実施、その事例を普及啓発することで、県内でのフードバンク活動の普及・定着を図る

<実施内容>

1. フードバンク活動コーディネーターの配置

- ・事業者への普及啓発や研修会を開催（参加企業：21社）
- ・社会福祉協議会、子ども食堂や福祉団体へ取組みを周知
- ・県内で活動するフードバンク団体との連携を実施
- ・事業者から寄せられた食品の情報をHP上で発信

2. マッチング体制の構築

- ・関心のある食品提供事業者を募集（参加企業：17社）
- ・提供可能な食品の種類や受渡方法を整理し、一部エリアをモデル地域に設定して事前調整を実施

3. フードバンク活動の実施

- ・食品の受渡状況（令和4年2月末時点）

地域	提供事業者	提供先	提供物
南砺市	株式会社なかしま	福祉施設（3者）	冷凍のかき揚げ
富山市	ボンリブラン	子ども食堂（5者）	焼き菓子、和菓子
砺波市	キングパン	フードバンク団体（もったいないフードバンクとナミ）	パン

【フードバンク活動に関する食品企業向け研修会】
（令和3年7月実施）



◆課題◆

- ①食品提供事業者と受入先で、提供可能食品と希望食品にズレ、受入可能日までの保管、食品受渡方法など事前の調整が重要
- ②フードバンク活動に係る事業者の認識や理解促進が重要

令和4年度の取組予定

フードバンク活動の拡大

<目的>

- ・モデル事例を活用し、事業者と提供先とのマッチングを県内全域に波及させる
- ・事業者によるフードバンク活動への理解促進のため、普及啓発を重点的に実施

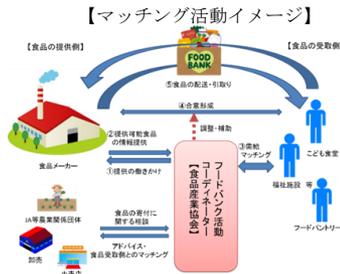
<実施内容>

①「フードバンク活動コーディネーター」の配置

- ・食品提供事業者や食品提供先の開拓
- ・モデル事例を活用したマッチング活動の推進
- ・マッチングのための合意書締結に係る支援

②食品提供事業者の拡大に向けた普及啓発の実施

- ・モデル事例を中心としたパンフレットの作成
- ・フードバンク活動に係る普及啓発や、モデル事例を紹介するセミナーを開催



フードドライブの拡大

<目的>

県民の認知度の向上、取組みの浸透・拡大を図るため、様々な主体に向けて実施を呼びかけ、リレーキャンペーンとしてPRする

<実施内容>

1. フードドライブの実施支援

- ・実施団体への資機材（のぼり、コンテナ等）の貸出、ノウハウの提供や食品寄付先との調整、広報協力（県HPでの開催情報の発信）等

2. フードドライブ実施状況

- ・令和4年2月現在、実施件数：52件（40の団体が参加、13の市町村で実施）

3. 取組みのPR

- ・啓発動画により環境フェアinWEBでPRした他、ポスターを作成し参加団体に配布

4. その他

- ・実施店舗の拡大に向けて、スーパー等における効率的な運営（無人化）に係る実証実験を行い、課題を整理



【PR動画】
（こちらから →
ご覧いただけます）



【朝日町食生活改善推進協議会】
（令和3年12月実施）



【無人化実証実験】

◆課題◆

- ①食品の輸送や保管、仕分け、配布にマンパワーを要するため、寄付先との調整に苦勞する場合がある。実施主体や地域の実情を踏まえたきめこまかい調整支援、小規模な地域内での循環など持続可能な運営体制の構築が必要
- ②県民参加の拡大と活動の定着に向けて普及啓発が必要

フードドライブのマッチング推進

<目的>

- ・寄付先との円滑なマッチング、活動の継続、活性化
- ・県民の理解促進と参加の拡大、取組みの定着

<実施内容>

①地域の实情に応じたローカル循環モデルの構築

- ・推進ネットワークを設置し、地域内循環を推進
- ・富山型の循環モデルケースとして情報発信

②スーパー等での常設窓口（無人）設置の水平展開

- ・実証実験を踏まえた効率的な運営方法の普及を図る

③県民への普及啓発

- ・イベント等への出展、啓発（富山県消費者月間（10月）等）
- ・若者向けの出前講座やアイデアコンテストを開催

